

対象年度	平成31年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	新たな公共交通システムの検討事業							予算事業名	企画調整事務経費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			02	01	07	0501	政策経費					
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業			
	2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)											
	②公共交通ネットワークの強化							担当課係等	企画政策課			
	2新たな公共交通システムの検討								政策推進係			
事業期間	継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
交通弱者の交通環境改善や、結城市への、または市外へのアクセス性の向上、市内交通の利便性の向上による地域活性化を図る。							当市では路線バスがほとんど無く、駅から離れると交通手段はほぼ自家用車に限られる。高齢化と単世帯化の進行で、交通弱者は今後さらに増加すると思われることから、新たな公共交通システムの構築が求められている。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・巡回バスの運用について、今後の方針や課題についての検討 ・デマンドタクシーなど新たな公共交通システムの検討 ・交通弱者のニーズの把握 ・近隣市との連携 							結城市民、結城市への来訪者					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針として、公共交通とまちづくりを一体的に考えた地域公共交通に取り組むことが求められている。 ・近年は、幹線道路沿いに大型店舗の出店が進んでいることから、自家用車のない高齢者などは不便を強いられている状況にある。 ・昨今は、小売店において配達サービスが広まっており、その動向も踏まえて、交通弱者のニーズを把握し、環境改善を検討していく必要がある。 					
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
地域公共交通会議運営				地域公共交通会議運営				地域公共交通会議運営				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	0	2,108			
歳入計(千円)		0	2,108			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	0	108			
	13 委託料	0	2,000			
歳出計(千円)(A)		0	2,108			
伸び率(%)			皆増			
備考	総合計画79ページ 予算書 ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	検討会議の開催	回	目標	0.00	3.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	公共交通システム検討結果報告書作成	完了	目標	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	高齢者を中心とした交通弱者の増加に伴い、必要性は高まっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	検討を進めるにあたっては、公益性を重視するため、市の実施は妥当である。
	手段の妥当性	B どちらも言えない	課題の抽出およびニーズの把握にあたっては、関係課と連携し協議会の設立なども視野に入れる必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	当事業は直ちに成果を期待できるものではないため、効率性よりも、継続的な組織活動を実施することが重視される。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	交通弱者を対象としているため、受益者は偏るが、福祉の観点から公益性は高い。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	現状では、巡回バス（長寿福祉課）を継続実施している。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	巡回バスの老朽化問題もあることから、現状の課題抽出および対策について、検討を加速させる必要がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
新たな公共交通システムを導入するにあたっては、ニーズの把握とその費用対効果について十分検討し、継続性の高い手法が選択されるよう、留意しなければならない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
交通弱者数の把握と、交通弱者を救済するにあたっての最低ライン（週に〇回の買い物など）を設定するために、必要な基礎調査を行う必要がある。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>定住自立圏域である小山市から、デマンドバスの本市乗り入れの要望を受け、地域公共交通会議を設置し、本件について協議することとなった。会議設立を契機とし、本市の公共交通の在り方についても広く意見を募り、ニーズ把握のためのアンケート調査等を実施し、報告書としてまとめることとなった。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>